

# 平成 29 年度 飯山市総合戦略 効果検証会議 顛末（要旨）

平成 29 年 7 月 28 日（金）  
14：00～15：20  
飯山市役所第 3.4 委員会室

## 1 開会

企画財政課長

## 2 会長（市長）あいさつ

委員の皆さんにはお忙しい中、会議に出席いただきありがとうございます。

また、高校生の委員さんにも出席をいただいております。飯山市の総合戦略は、平成 27 年度から 31 年度までの計画であるが、毎年見直ししながら計画を進めていくというものです。

今回は、平成 28 年度についての実績、効果を検証しながら今後の進め方について協議いただきたい。

## 3 協議事項（進行：会長）

1) 飯山市総合戦略の効果検証について・・・資料 1

2) 飯山市人口ビジョンについて・・・資料 2

3) 今後のスケジュールについて・・・資料 3

4) 意見交換

5) その他

## 4 閉会

◆協議事項

- 1) 飯山市総合戦略の効果検証について・・・資料1
- 2) 飯山市人口ビジョンについて・・・資料2
- 3) 今後のスケジュールについて・・・資料3

事務局から総合戦略の概略、資料1、飯山市の総合戦略の効果検証について説明  
続いて、資料2、飯山市人口ビジョンについて、資料3、今後のスケジュールにつ  
いても合わせて説明し、全体をとおして意見交換協議を実施。

【質疑応答・意見交換】

- (委員) 飯山市については、移住定住について力を入れ成果を上げておられる。深く敬意を表したい。これは数字にも表れている。  
K P I の説明をいただいたが、29年度に数値が入っているがこれは目標値なのか実績値なのかどちらなのか。  
目標値とした場合、29年度の目標値はどのようになっているのか。総合戦略の冊子では31年度の目標値は入っているが各年度の数値は入っていないように見えるがどうか。
- (事務局) 29年度の数値について、累計値となっているものについては、27年度、28年度の実績値と29年度の目標値を入れたものである。また、単年度のものについては、単年度、29年度の目標値となっている。  
目標値の決め方については、平成29年度当初予算の編成時に各課から目標値として出してまとめた数値となっている。目標値に近づくため施策を進めて行くということで予算編成時としている。  
なお、平成27、28年度については、そのような形になっていない。
- (委員) 総合戦略については31年度の数値目標値があるので、この計画の5年間でこの数値に近づけていくために事業を進め、その数値に近づけていくためには、1年あたりの数値はどのくらいになるのかということで数値が出てくると思います。  
数値の報告を踏まえて、この数値に対する達成度をどのように考えているのか、例えば、順調なのか、順調ではないのか、簡単に表現すれば、記号◎、○、や、A、B、C等での評価がほしいが。  
また、そのようなになった要因の分析、なぜそのような数値となったのか、飯山市の努力だけでなく、事前的な要因や、対外、他の要因はどのくらいあったのか、ぜひ分析してほしいと思う。

それぞれの項目について、順調なのかそうでないのか、市としてどのように考えているのか、自己評価が必要だと思います。

(事務局) 実際には、28年度の予算編成時から31年度の目標値を達成するべく、年度ごとの目標を立て、実際にはどうだったのか。ということ検証できればよかったが、28年度については実施できなかった。

29年度については、年度目標を立てながら実績を検証していきたい。

また、達成度について評価が表に入っていないが、Ⅱの若者定住・移住定住推進、あるいはⅢの子育て支援・次世代育成、Ⅳのいつまでも安心して暮らせる地域づくりについては、順調に進んでいると考えている。

しかしながら、Ⅰの地域経済活性化・雇用創出については、なかなか達成されていない項目があると考えている。

(委員) 総合戦略を作られて、その進捗状況を公表する場合、評価等が入っていないと、市民の方が見てもわからないと思います。

簡単にわかるように公表する時に入れていただけるよう検討していただけるとありがたいです。

※資料については修正済み。

(委員) 話がちょっと離れてしまうが、経済誌で飯山市のことが取り上げられていたので紹介したいと思います。青森大学の教授のレポートです。

北海道新幹線の開業から1年、北陸新幹線の開業から2年が経過し、どちらの沿線も開業特需が一段落し、新しい新幹線時代の姿が見えつつある。2月下旬の飯山駅を訪れて、かまぐらに並ぶ飯山駅前ということで、真冬の飯山市はすっぽりと雪に覆われて、雪国、北信濃らしい景観が広がっており、雪まつりとかまぐら祭りについても紹介がされていました。

また、かまぐら中には、飯山菜の花祭りポスターも飾られており春にまた会いましょうという、控えめながら真っ直ぐなメッセージが伝わってきた。一方東北では、真空地帯と評されような、なかなか思うように進んでいないという比較の記事が出ていました。

数値的には、今あったようにⅠの地域経済活性化・雇用創出についてはなかなか進んでいないということでしたが、この経済誌で他と比較した場合、少し、一歩先行しているといった記事も出ていた。

そういった面から、まだ課題は多いが評価として出ていると思う。

また、この雑誌等を見た方が、飯山に行ってみようと思った期待値に応えられるよう協力して取り組んでいければ良いと思います。

(委員) Ⅰの地域経済活性化・雇用創出の数値が低いですが、ただ起業支援による起業件数については、駅前で起業したいが、これから考えている人はかなりいるが、なかなか条件が整わなくて起業できない方等がいらっしゃるの、そういった部分をもっとフォローしていくことでもっと支援ができるの

ではないかと考えている。

また、新規就農者数についても少ないが、農業・林業の方で商業的な部分で起業する方もいらっしゃるのでは、農業の方にカウントされていないのかと思う。観光や商業、農業というという枠組みでなく、産業という枠組みで数値を捉えられないか。

(事務局) 現状別々となっている。K P I の数値の見直しにあたり、項目の見直し対象としていきたい。見直しの中でもう少し幅広くとらえることなど検討したい。

(委員) 若者会議等が出た意見を市に提言していく活動をしている。また、地方創生の取組みの中で、対話集会等いろいろな会をやるなかで、外の人から飯山市について関心をもってもらえるようになってきた。実感としてある。若い人が遊びに来て、仕事をして、飯山市に住んでいただけるよう取り組みを進めていきたい。

(会長) 今回、高校生の委員さん出席しているが、学校で課題を設けて取り組みをしていると思うが、高校生が考えるこのような飯山になってほしい、このような取り組みをしたらよいのではないかと。このような飯山に住みたい。という意見をまた出していただければありがたい。

(副会長) 新幹線の開業効果というものは、てきめんに出てきていると思います。ここに出てくる数値だけでなく、斑尾高原の不動産の売買が出てきたり、企業の進出も出てきていると思います。

また、これに対して吸い上げられているものもありますが。

総合戦略を策定した時点ではわからなかったものが、実際にこういった検証会議というのはすごく意味があると思う。

一つだけ言えるのは、開業後2年経ってみてマーケティングをした結果、いろいろ別な策を立てられるようになってきたのではないかと。思う。

K P I だけみると当初考えていたものと、すごくかい離してきているものと、2年やってみて、トレンドがわかってきたことがあると思います。可能な部分も見えてきたと思います。より具体的なことが出てくる会議となってほしい。

(委員) 実例としてお話しさせていただくと、移住件数は当初は難しいと考えていた数値であったが、順調にすすんでいる。これは北陸新幹線の効果が非常に大きい。また、移住ナビというところでも上位に飯山市はいる。非常に順調な項目である。

(委員) 観光入込客数が平成28年度は103万にとどまっているが、これはグリーン期とホワイト期で半分半分くらいの内容である。

現在、もっとグリーン期のお客さんを増やしたいと考えている。

定住人口が減っても、交流人口が増えればよいと考えている。

この交流人口を増やすのが観光である、観光で地域を豊かにしていきたい。

国内の需要が減っても、外国のお客さんを呼び込んでくることが大事。これには広域観光が大事である。北陸新幹線飯山駅を中心に広域連携を大事に取り組んでいきたい。

- (委員) 冬、高校生等で、飯山駅で道案内をするボランティアを行った。スキー以外に、飯山の地域に感動してくれていた。日本の文化や飯山を発信して、もっと高校生が考えることを発信していきたい。  
冬、外国の方が来ていただいたときに、春の風景の写真を飾るなど、冬にきて春にも来ていただけるようなアイデアを出していきたい。

引き続き次回協議とし閉会

15:20分終了